

大会名称: 第25回東北大学バスケットボールリーグ
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: 青森中央学院大学第2体育館
試合区分: No. 0830A1 1次リーグ女子
期日: 2024/8/30(金) 主審: 成田康平
開始時間: 13:00 副審: 齊藤純希
副審: 松田優里

八戸学院 一部2位	○ 74	● 55	富士 一部4位
--------------	---------	---------	------------

八戸学院大学

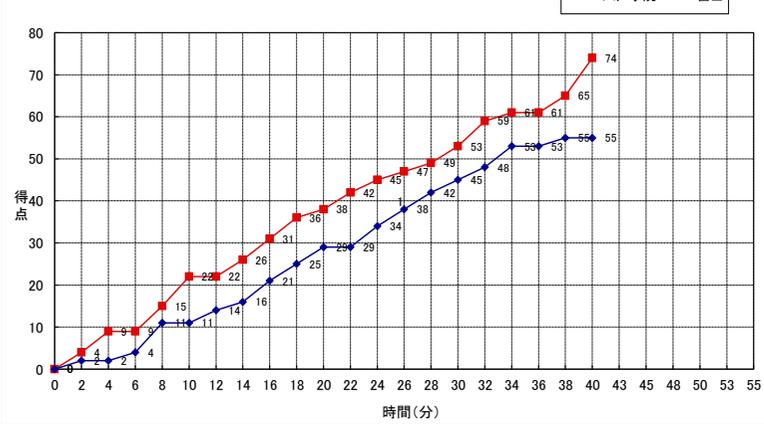
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
93	*	沼田舞愛	12	2	9	2	8	2	2	2	1	0	1	4
2	*	菊池海音	9	0	0	3	5	3	3	1	3	6	9	0
7	*	菊池美奈	12	0	1	5	14	2	2	1	8	7	15	2
9		藤元紀李	4	0	0	1	2	2	4	0	2	4	6	0
10		鎌田一花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		佐藤まつり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12		渡邊涼望	12	4	9	0	4	0	0	0	2	3	5	1
16		馬場友夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		阿部心蓮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25		中村愛佳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	*	細浦琴美	11	2	4	2	2	1	2	2	1	0	1	1
52	*	米谷日里	12	0	1	5	11	2	4	1	2	6	8	2
55		小笠原幸香	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
59		佐々木真実	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65		田端彩乃	2	0	2	0	4	2	2	1	2	2	4	1
TEAM											1	2	3	
合計			74	8	26	18	50	14	19	8	22	30	52	11
				30.8%		36.0%		73.7%						

富士大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
5	*	川村秋桜花	12	1	10	4	10	1	2	3	0	3	3	5
1		細川音羽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3		齋藤梨緒	2	0	0	1	2	0	0	2	0	1	1	0
4		杉村和夏	4	0	0	2	2	0	0	0	2	3	5	0
10		佐々木心晴	5	0	0	2	5	1	3	2	3	1	4	0
17		野呂心海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		長澤由優	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	*	杉山夢子	17	3	10	4	8	0	0	0	2	2	4	1
24		西沢鼓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	*	畑中悠奈	6	0	0	3	7	0	0	3	7	3	10	0
26	*	阿部彩華	2	0	1	1	9	0	0	3	3	3	6	2
30	*	齋藤亜海	5	1	3	1	4	0	4	2	1	3	4	0
31		菅原莉衣架	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37		中村南美	2	0	0	1	2	0	0	3	0	2	2	1
77		奥山せり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM											0	2	2	
合計			55	5	24	19	49	2	9	18	18	23	41	9
				20.8%		38.8%		22.2%						

PTS: ポイント
M: 成功
A: 試投
%: シュート率
FG: フィールドゴール
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FT: フリースロー
F: ファウル
OR: オフェンスリバウンド
DR: デフェンスリバウンド
TOT: トータルリバウンド
AS: アシスト
S: スターター
OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

○第一クォーター

富士大の速攻でゲームが始まる。ドライブ、ディフェンスが光り八戸学院大学がリードを得る。八戸学院大学はフリースローとオフェンスリバウンドで得点を重ねる。富士大学はたまたずタイムアウトを取りディフェンスをゾーンディフェンスに変えたが得点は止まらず。11対22で八戸学院大学がリードで第一ピリオドが終了。

○第二クォーター

八戸学院大学#7菊池美奈のオフェンスリバウンドで八戸学院大学が得点を重ねる。富士大学のゾーンディフェンスをセットプレーを用いて八戸学院大学が崩しミドルシュートを量産した。第二ピリオドはお互いファールがかさむ展開であった。29対38で前半を折り返す。

○第三クォーター

八戸学院大学のスティールで後半が開始。八戸学院大学#2菊池美夢の力強いレイアップシュートでさらに流れを呼び寄せる。富士大学のゾーンディフェンスがまりディフェンスから流をつかんだ富士大学が立て続けに難しいシュートを決め続け、点差を縮めていく。45対53で富士大学が点数を縮め結果は最終ピリオドへ。

○第四クォーター

序盤から八戸学院大学がリバウンドを制しフリースローで得点を重ねていく。富士大学#5川村秋桜花がスリーポイントを決め流れに乗ろうとするも、八戸学院大学#93沼田舞愛、#12渡邊涼望が立て続けにスリーポイントを決め点差を広げる。55対74で八戸学院大学の勝利に終わった。

○総評

八戸学院大学のオフェンスリバウンドからセカンドチャンスで得点を量産していた。終始追いかける展開となった富士大学はディフェンスからの速攻などで点差を徐々に縮めていった。しかし、終盤、八戸学院大学のスリーが二本連続で決まり、八戸学院大学が逃げ切る形で勝利した。